

スタート！前を向こう！



AZUMA II
Junior High School
ニュースレター

A to Z

墨田区立吾嬬第二中学校

令和6年9月2日(月)

夏休みの英語学習事業について

墨田区中学生海外派遣が今年も実施されました。本校11名の応募者の中から岡山結菜さん服部祉穂さんが参加し、団長として校長駒田が引率しました。

海外派遣ではホストファミリーとの生活の中に身を置くことで、逃げ場のない状況を作り、英語の中に身を置くという事はかけがえのない環境での学びであったと思います。またそれにもまして相手に伝えたい、知りたいというコミュニケーションへの欲求が、語学だけでなく文化交流という点でも大変有意義でした。この経験を学校全体に共有してもらいたいと考えています。

他にも英語教育事業として、この夏ニュースにもなっていた区内で行われた「**イングリッシュキャンプ**」がありました。大学と携わりたいわば駅前留学のような事業でした。本校からも3名の2年生が参加しました。学校を飛び出している様々な学びのチャンスを是非活かしてみてください。



現地校で



げそこにたどり着くと、そこにはまた新たな地平線があるというイメージでしょうか。たくさんの地平線は、次々と自分の未来を切り拓いていくたくさんの目標なのだと思います。努力の後の次の目標が、新たな地平線です。みなさんも自分の地平線について考えてみてください。

地平線って数えるもの？

～「オリンピック・パラリンピックそして海外派遣」～

校長 駒田 るみ子

地域・保護者の皆様、晴天の空とともに、いよいよ9月が始まりました。いつも御理解・御協力をいただきありがとうございます。秋期は行事も多いです。実りの二中にご期待ください。

私は海外派遣の引率があり、派遣生たちと一緒に個人的にも大きな学びを経験いたしました。また一方でオリンピック・パラリンピック選手の活躍などで大きな感動を与えてくれた夏でした。

数多くの感動シーンがある中で心に残った選手の言葉について触れたいと思います。それは水泳の池江選手、柔道の阿部選手から発せられた「**努力**」という言葉です。(他にもたくさんあったのですが…) 決勝に出ることができず、敗退と決定の時の池江選手の無念極まる「これまでの努力は何だったんだろう。何でだろう」「頑張ってきた分だけ無駄だったのかなって」という言葉には応援していた人たちはそんなことないよと首を振ったことでしょう。対照的に柔道の阿部一二三選手の金メダル後の「努力は報われる」という言葉も印象的でした。アスリートとして、それを信じて打ち込んできたという思いもあったでしょう。大会では当然のことながら、夢が叶わない選手も数多くいました。それも意識しての発言のように聞こえました。

学校生活の中でも「努力」はとても大事です。自分が納得する行動をとること、人のものさしでなく自分のものさしでしっかりと目標を決めてあきらめずにがんばること。それが「努力」です。オリンピック級の選手と中学生とを単純に比べることはできませんが、おそらく阿部選手は夢に向かって努力することの大切さを多くの人に伝えたかったのではないのでしょうか。夢が叶わなくても努力の先には次のステージが待っています。

私は海外派遣の最初の話で「**Broaden your horizons.** 視野を広げよう」と伝えていました。帰ってきてオリンピック・パラリンピックの選手たち同様がんばったと満足していました。そしてふと気付いたのです。**英語では horizons つまり地平線は複数形です。数えるものなのです。**

日本語の感覚で考えていたので、とてもびっくりしました。視野を広



感謝！育成さんによる朝の挨拶運動の風景

AWARD-WINNING

バドミントン部 (男子団体)

墨田区中学校バドミントンシード権大会 3位



学校 HP をご覧ください

夏季休業中の活動



～ 夏季水泳教室・連合陸上競技大会練習 ～



今年度の連合陸上競技大会は、10月8日(火)に国立競技場で行われます。出場しない生徒も全員、応援で行きます。

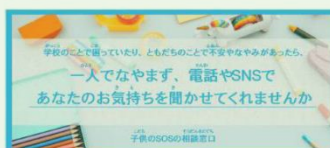
～ 夏季補充教室・部活動 ～



悩みや困りごとがあるときは相談しよう！

電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には警察、児童相談所、法務省などの相談窓口一覧もあります。)



https://www.mext.go.jp/s_mext/ehotou/aitoshidou/0612210.htm